

The Japan Research Institute, Limited
Musashino Art University

joint symposium 自律協生社会のデザイン

武蔵野美術大学が運営するソーシャルクリエイティブ研究所および株式会社日本総合研究所は、主体的・自律的な個人が、力を合わせることで生まれる生き生きとした地域社会（自律協生社会）の実現に向けた共同研究を開始します。共同研究のキックオフイベントとして、武蔵野美術大学と日本総研はシンポジウムを開催します。自律協生の国、地域、企業づくりに関心のある方のご参加をお待ちしています。

11 / 1 2022
|火| 15:00-17:00

参加費：無料

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 5F

※オンライン同時配信あり

【アクセス】



開会挨拶

武蔵野美術大学学長 長澤 忠徳

第一部 基調講演



「人口減少・成熟社会のデザイン - 自律協生社会への期待 -」

広井 良典

京都大学 人と社会の未来研究院 教授

1961年生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授をへて2016年より現職。この間2001-02年MIT（マサチューセッツ工科大学）客員研究員。専攻は公共政策及び科学哲学。環境・福祉・経済が調和した「定常型社会＝持続可能な福祉社会」を提唱している。『日本の社会保障』（岩波新書）でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』（ちくま新書）で大仏次郎論壇賞受賞。他に『ポスト資本主義』（岩波新書）、『人口減少社会のデザイン』（東洋経済新報社）、『無と意識の人類史』（同）など著書多数。内閣府・幸福度に関する研究会委員、国土交通省・国土審議会専門委員、環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員等を務める。

第二部 パネルディスカッション

「自律協生社会のデザイン」



パネリスト

金井 政明

株式会社良品計画
代表取締役会長

1957年生まれ。西友ストアー長野を経て1993年良品計画入社。生活雑貨部長として長い間、売上の柱となる生活雑貨を牽引し良品計画の成長を支える。その後、常務取締役営業本部長として良品計画の構造改革に取り組む。2008年2月代表取締役社長、2015年5月代表取締役会長に就任、現在に至る。

パネリスト

若杉 浩一

武蔵野美術大学 教授
ソーシャルクリエイティブ研究所 所長

1959年生まれ。1984年九州芸術工科大学芸術工学部卒。プロダクトデザイナー。株式会社内田洋行入社。一方で、デザインの社会的意義を求め、2002年、「日本全国スギダラケ倶楽部」を設立。2019年4月、武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科の教授として着任。

パネリスト

井上 岳一

日本総研創発戦略センター
エキスパート

1969年生まれ。林野庁、Cassina IXCを経て2003年から日本総合研究所。山水の恵みと人の知恵・技術を生かした多様で持続可能な地域社会をつくることをミッションに研究・実践活動に従事。著書に『日本列島回復論 この国で生き続けるために』（新潮選書）、等。

モデレータ

岩寄 博論

武蔵野美術大学
クリエイティブイノベーション学科 教授

1976年生まれ。博報堂においてマーケティング、ブランディング、イノベーション、事業開発、投資などに従事。2021年より武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科に着任し、ストラテジックデザイン、ビジネスデザインを専門として研究・教育活動に従事しながら、ビジネスデザイナーとしての実務を行っている。

閉会挨拶

株式会社日本総合研究所 代表取締役社長 谷崎 勝教

■シンポジウムのお申込み方法

会場でのご参加（抽選制 / 申し込み10月19日 17:00 まで）
抽選結果は、10月21日までにお知らせします。
ご希望の方は、右側のQRコードよりお申し込みください。



オンラインでのご参加

オンラインでのご参加には、人数の上限はございません。
ご希望の方は、右側のQRコードよりお申し込みください。



■会場

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 5F 東京都新宿区市ヶ谷町 1-4

市ヶ谷キャンパス ▶

【アクセス】

● JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分 ● 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口より徒歩3分



■お問い合わせ先

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室（鈴木/河野） tel : 03-5206-5311 / mail : ichigaya_campus@musabi.ac.jp